

健康リスク初期評価結果一覧（15物質）

番号	物質名 [CAS番号]	有害性の知見 ^(注1)				曝露評価 ^(注1)		MOE・過剰発生率 ^(注1,3)		リスクの判定 ^(注1,4)	総合的な判定 ^(注1,4,5)	過去の公表 ^(注6)
		曝露経路	リスク評価の指標 ^(注2)	動物	影響評価指標（エンドポイント）	曝露の媒体	予測最大曝露量・濃度					
1	アジピン酸 [124-04-9]	経口	無毒性量等 470 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	×		-
						淡水	< 0.15 μg/kg/day	MOE	> 310,000			
		吸入	無毒性量等 - mg/m ³	-	-	一般環境大気	< 0.09 μg/m ³	MOE	-	×	() ^(注7)	
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			
2	3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキシル=イソシアネート [4098-71-9]	経口	無毒性量等 - mg/kg/day	-	-	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	×	() ^(注8)	-
						地下水	- μg/kg/day	MOE	-			
		吸入	無毒性量等 0.0048 mg/m ³	ラット	鼻腔、喉頭の上皮変化	一般環境大気	< 0.002 μg/m ³	MOE	> 240	×	() ^(注9)	
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			
3	4-クロロ-2-メチルフェノール [1570-64-5]	経口	無毒性量等 6.0 mg/kg/day	ラット	膀胱粘膜上皮の過形成、前胃扁平上皮の過形成など	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	×		-
						淡水	< 0.00013 μg/kg/day	MOE	> 4,600,000			
		吸入	無毒性量等 - mg/m ³	-	-	一般環境大気	- μg/m ³	MOE	-	×	() ^(注8)	
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			
4	酢酸2-メトキシエチル [110-49-6]	経口	無毒性量等 18 mg/kg/day	マウス	精巣重量の減少、精子の減少など	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	×	() ^(注8)	-
						地下水	- μg/kg/day	MOE	-			
		吸入	無毒性量等 - mg/m ³	-	-	一般環境大気	< 0.02 μg/m ³	MOE	-	×	() ^(注7)	
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			
5	1,1-ジクロロエチレン [75-35-4]	経口	無毒性量等 (-) mg/kg/day	(-)	(-)	飲料水	(-) μg/kg/day	MOE	(-)	(-)	() ^(注8)	パイロット事業
						地下水	(-) μg/kg/day	MOE	(-)			
		吸入	無毒性量等 0.44 mg/m ³	マウス	尿細管過形成、鼻甲介の萎縮と骨化過剰、嗅上皮の呼吸上皮化生	一般環境大気	1.7 μg/m ³	MOE	5 ^(注10)	×	() ^(注8)	
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			
6	N,N-ジシクロヘキシルアミン [101-83-7]	経口	無毒性量等 2.0 mg/kg/day	ラット	流涎、痙攣	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	×		6次
						食物	< 0.2 μg/kg/day	MOE	> 1,000			
		吸入	無毒性量等 - mg/m ³	-	-	一般環境大気	< 0.009 μg/m ³	MOE	-	×	() ^(注7)	
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			
7	ジビニルベンゼン [1321-74-0]	経口	無毒性量等 3.0 mg/kg/day	ラット	肝臓相対重量の増加	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	×		-
						淡水	< 0.00008 μg/kg/day	MOE	> 3,800,000			
		吸入	無毒性量等 0.96 mg/m ³	マウス	嗅腺・嗅上皮の呼吸上皮化生、細気管支の異型過形成など	一般環境大気	< 0.013 μg/m ³	MOE	> 7,400	×	×	
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			
8	ジプロモクロロメタン [124-48-1]	経口	無毒性量等 2.1 mg/kg/day	ラット	肝細胞の変性	飲料水	1.6 μg/kg/day	MOE	130	×		7次
						地下水	- μg/kg/day	MOE	-			
		吸入	無毒性量等 - mg/m ³	-	-	一般環境大気	0.029 μg/m ³	MOE	-	×	() ^(注7)	
						室内空気	12 μg/m ³	MOE	-			
9	セレン及びその化合物 [7782-49-2(セレン)]	経口	無毒性量等 (-) mg/kg/day	(-)	(-)	飲料水	(-) μg/kg/day	MOE	(-)	(-)	() ^(注7,9)	-
						地下水	(-) μg/kg/day	MOE	(-)			
		吸入	無毒性量等 - mg/m ³	-	-	一般環境大気	0.002 μg Se/m ³	MOE	-	×	×	
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			
10	2,4,6-トリクロロフェノール [88-06-2]	経口	無毒性量等 0.030 mg/kg/day	ラット	肝臓重量の増加	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	×		8次
						淡水	0.0011 μg/kg/day	MOE	550 ^(注10)			
		吸入	無毒性量等 - mg/m ³	-	-	一般環境大気	< 0.013 μg/m ³	MOE	-	×	() ^(注7)	
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			
11	ブタン-2-オン=オキシム [96-29-7]	経口	無毒性量等 0.40 mg/kg/day	ラット	赤血球数等の減少、網赤血球数の増加、脾臓の髄外造血亢進など	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	×		-
						淡水	0.0036 μg/kg/day	MOE	11,000			
		吸入	無毒性量等 0.19 mg/m ³	マウス	嗅上皮の変性	一般環境大気	< 0.013 μg/m ³	MOE	> 1,500	×	×	
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			

番号	物質名 [CAS番号]	有害性の知見 ^(注1)			曝露評価 ^(注1)		MOE・過剰発生率 ^(注1,3)	リスクの判定 ^(注1,4)	総合的な判定 ^(注1,4,5)	過去の公表 ^(注6)		
		曝露経路	リスク評価の指標 ^(注2)	動物	影響評価指標(エンドポイント)	曝露の媒体					予測最大曝露量・濃度	
12	プロモジクロロメタン [75-27-4]	経口	無毒性量等 0.61 mg/kg/day	ラット	肝臓の脂肪変性	飲料水	1.1 μg/kg/day	MOE	11 ^(注10)		7次	
						淡水	< 0.00016 μg/kg/day	MOE	> 76,000 ^(注10)			
		吸入	無毒性量等 0.17 mg/m ³	マウス	尿細管の変性など	一般環境大気	0.033 μg/m ³	MOE	100 ^(注10)			
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			×
13	ヘキサメチレン=ジイソシアネート [822-06-0]	経口	無毒性量等 - mg/kg/day	-	-	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	×	() ^(注8)	
						地下水	- μg/kg/day	MOE	-			
		吸入	無毒性量等 0.0061 mg/m ³	ラット	嗅上皮の変性	一般環境大気	0.00018 μg/m ³	MOE	3,400	×	() ^(注9)	
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			×
14	ほう素及びその化合物 [7440-42-8(ほう素)]	経口	無毒性量等 (-) mg/kg/day	(-)	(-)	飲料水	(-) μg/kg/day	MOE	(-)	(-)		
						地下水	(-) μg/kg/day	MOE	(-)			
		吸入	無毒性量等 - mg/m ³	-	-	一般環境大気	0.14 μg B/m ³	MOE	-	×		() ^(注7)
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			
15	メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート [26471-62-5]	経口	無毒性量等 1.6 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制、生存率の低下、気管支肺炎	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	×	() ^(注8)	
						地下水	- μg/kg/day	MOE	-			
		吸入	無毒性量等 0.0013 mg/m ³	ヒト	呼吸機能の低下	一般環境大気	< 0.0011 μg/m ³	MOE	> 240 ^(注10)	×	() ^(注9)	
						室内空気	- μg/m ³	MOE	-			×

(注1) - : リスク評価の指標が設定できなかった、あるいは予測最大曝露量・濃度が設定できなかった場合、MOE・過剰発生率(がん)の算出ができなかった場合。 (-) : 評価の対象外、あるいは評価を実施しなかった場合。

(注2) リスク評価の指標: 本評価は基本的に安全サイドに立ったスクリーニングとして実施していること、情報の質、量は化学物質により大きく異なることから、化学物質間の相対的な毒性強度を比較するような場合等には、この数値を単純に使用するのではなく、更なる詳細な検討を行うことが必要。

無毒性量等: 長期間の連続曝露に補正したNOAEL(長期毒性以外の知見を採用した場合等)又はNOAEL相当(LOAELを10で除した場合等)の値。

(注3) MOE: 無毒性量等を予測最大曝露量、あるいは予測最大曝露濃度で除した値。但し、無毒性量等を動物実験から設定した場合には10で除し、さらにヒトで発がん作用があると考えられる場合には最大10で除して算出する。

また、無毒性量等を発がん性から設定した場合には原則10で除して算出する。

(注4) : 現時点では作業は必要ない、 : 情報収集に努める必要がある、 : 詳細な評価を行う候補、 × : 現時点ではリスクの判定はできない。

(注5) リスク評価の指標が設定できない場合や曝露情報が把握されていないためにMOE・過剰発生率(がん)の算出ができず、リスクの判定ができなかった場合でも、関連情報から情報収集等の必要性について推定できた場合には、健康リスク評価分科会による総合的な判定により下記の通り分類した。また、リスク判定ができた場合でも、必要に応じて総合的な判定を実施した。

() : 情報収集等を行う必要性は低いと考えられる、 () : 情報収集等を行う必要性があると考えられる、 () : 詳細評価を行う候補と考えられる。

(注6) 再評価物質については、過去において第何次のとりまとめで公表したかを示す。

(注7) リスク評価の指標が設定できなかった物質: 曝露経路間の換算により算出した値を考慮した。

(注8) 予測最大曝露量・濃度が得られなかった物質: 過去の曝露データや限られた地域の曝露データ、PRTRデータを用いた濃度予測結果、媒体別分配割合の予測結果、水中や大気中での半減期、生産量、物性などを考慮した。

(注9) 総合的な判定として、過去の曝露量や曝露濃度、PRTRデータを用いた濃度予測結果を考慮した。

(注10) MOEの算出に当たっては、発がん性を考慮した。